

さくらともみじの ニュース 第1号

発行
さくらともみじを植える
実行委員会
責任者
今井将人
ボランティア事務局
浅間温泉1-6-15
Tel0263-46-5225
Fax0263-46-5154

美ヶ原スカイラインに 壮大な計画が進行中

花のトンネルを夢見る多くの参加者が集う 十八年度の参加者 現在五百八十八名!

昨年十二月一日に松本市長に提案した、美ヶ原スカイラインに、さくらともみじを植える計画に賛同して下さるボランティアの皆さんを募集致しましたところ、現在五百八十八名の皆様の応募がありました。

誠に有り難うございます。心から感謝申し上げます。

雄大な北アルプスを一望出来る美ヶ原スカイライン沿いに植えられたさくらやもみじ、なかなかまどが、それぞれのシーンに花をつけ、紅葉し、それらの木々の中を走り、美ヶ原高原に導かれ、思い出の丘や、天狗の露地駐車場から、遠く富士山から北アルプスまでの大パノラマを堪能し、武石峰から焼山に続くレンゲツツジや、牧草地帯の美ヶ原高原で、すがすがしい気分には浸れば、誰もが鼻歌や、詩、俳句等を口ずさめることと思います。

今回の計画が、文字通り花開けば日本の道一等賞になれるものと確信をしながら皆様と頑張つて参りたいと思います。皆様のご協力を末永くよろしくお願い申し上げます。

実行委員会々長 今井将人



市長に提言するさくらともみじを植える会の三役

植樹位置現地に設定

さくら 500本 もみじ 500本 ななかまと 200本

四月二十二日(土)、二十三日(日)の二日間にはわたって、五月十四日(日)に開催される『さくらともみじを植える会』の植樹場所の選定に、ボランティア事務局に集まった二日間、延べ23人の皆様によって現地に植樹位置が決定されました。

朝八時半に集合した事務局が、前日夕刻、番号札をガムテープで貼り付けた竹ざおを、一本、一本、満開の願いを込めて、現地に鉄の棒で穴を開け、番号札の付いた竹ざおをさし込み、当日の植樹場所を決定致しました。

今年度の総植樹数一、二〇〇本を、美鈴湖から上の美ヶ原スカイライン10キロメートルに設定しました。この作業によって準備が整い、皆様に書類の発送が始まりました。次に行われる作業は、ボランティア事務局による、その場所への苗配りです。

当日、皆様の作業がスムーズに行えるようボランティア事務局も頑張っております。当日、皆様のご協力を心からお願致します。

事務局



雪の残る美ヶ原スカイラインの植樹場所に、目印の竹ざおを設置する皆さん

植樹目印の竹ざお

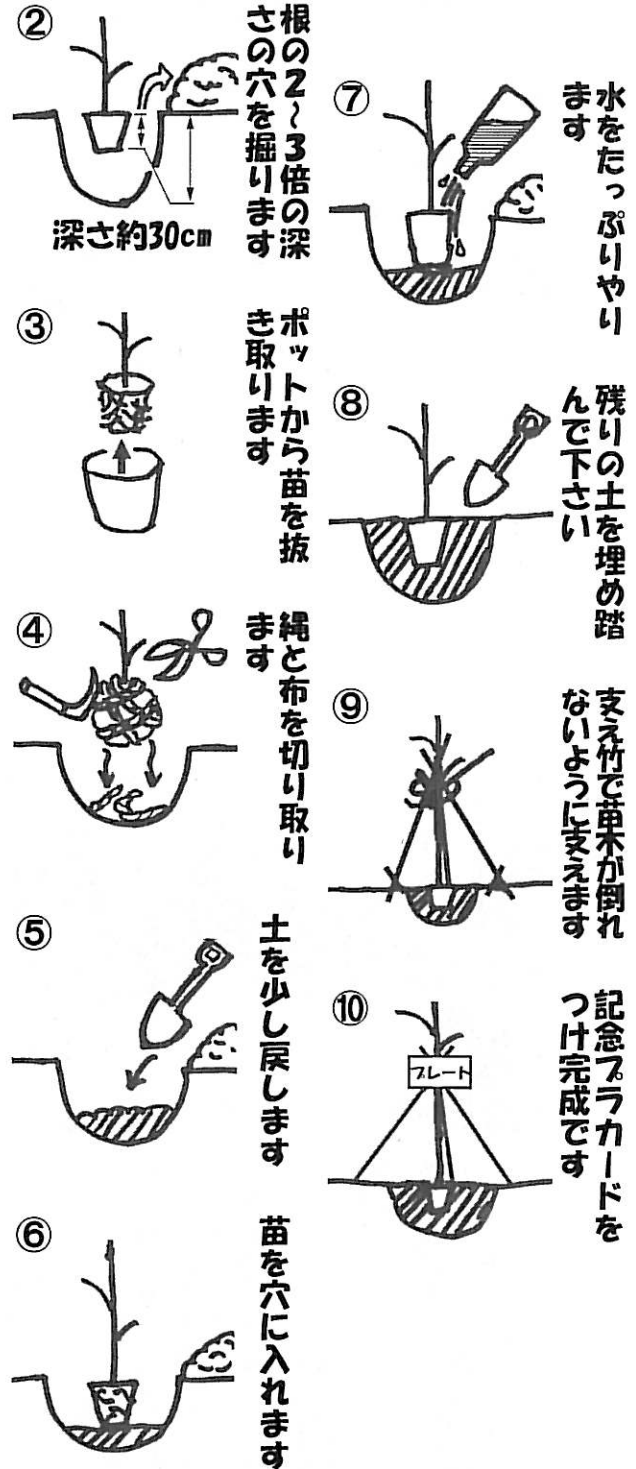


植 え 方

- ①植える場所の周りの草や雑木を片付けます。
- ②掘る穴の大きさは、ビニールポットや根巻きが完全に入る大きさで掘ります。浅いと根が張りません。出来れば、少し大きな穴にして頂ければ、根の周りの土が軟らかくなり、根が張り易く、枯れる率が少なくなります。ポットや根巻きの2～3倍、約30cmの深さの穴を掘って頂ければ理想的です。
- ③ビニールポット苗はビニールポットを外します。
- ④根巻き苗は根が布で巻かれていますので穴の中に入れてから布を縛っている縄を切って下さい。切った縄と布は肥料になりますからそのまま穴に入れておいて下さい。
- ⑤深く掘った穴にやわらかくほぐした土を少し戻します。(この時、バーク堆肥などを各自持参いただき同時にに入れてあげればより理想的です。)
- ⑥戻した土の上に苗木を置きます。
- ⑦水をたっぷりあげて下さい。
- ⑧残りの土を根の周りにかけて定床させます。
- ⑨支え竹を地面にしっかり差し込み上部で3本併せて苗木と共にしばり、苗木の転倒を防ぎます。(指定番号用の竹も支えに使っていただいて結構です。)
- ⑩プラカードを支え竹にしっかり縛り付ければ、完成です。

植える時に頑張っておれば、木もきっと頑張ってお根付くことと思います。

生涯植えた人の気持ちのこもった木として語り継がれ、人々に安らぎを与えてくれると思いますので、大変ですが頑張ってお下さい。お願い致します。



編集後記

第一号のニュースをお届け致します。寒かった冬が過ぎ、春の訪れを告げるのは、桜前線のニュースです。実りの秋から冬の訪れを告げるのは、紅葉のニュースです。

私達が今回植えるさくらともみじとななかまどが美ヶ原スカイライン沿線十三キロメートルにわたる長い区間に咲き誇れば、ものすごい景色になることは明らかであります。

その上に、さくらの時期には、雄大な北アルプスに残雪があり、もみじとななかまどの時期には新雪が北アルプスを覆う。

きっと日本一の景色になります。想像するだけでも楽しく、うれしくなります。

それが私達の手で作られ出されるのです。未来永劫私達の足跡(そくせき)が残し、語り続けられるのです。

なんと素晴らしい事でありましょうか。この機会を今、私達が与えられたのです。

みんなで頑張りましょう。みんなで力を合わせて、松本の美ヶ原を素晴らしい美ヶ原にしましょう。

よろしくお願い致します。このニュースは、時折発行して皆様に状況をお知らせしたいと考えております。ボランティア事務局

松本市浅間温泉

一六―十五
(株)けいかく内

電話 ○二六三―四六―五二二五
ファックス 四六―五一五四